

装丁の大切さ

日本に紙が伝えられたのは卑弥呼の時代（3世紀頃）。それまでは木や葉っぱに文字を書いていました。

和紙は、中国後漢の蔡倫がその製法を發明したと言われています。そして、遣唐使らにより日本へ伝えられたと考えられています。

江戸時代になると、木版技術の進化で葛屋による浮世絵や経本の出版が多くなりました。現代ではスマホで読める電子書籍が普及し、ペーパーレスが多くなりました。

そんな中でも、私はやはり本は紙であるべきではないかと考えます。手に持った時の感触と、本の顔とも言える装丁の美が大切だと思うからです。

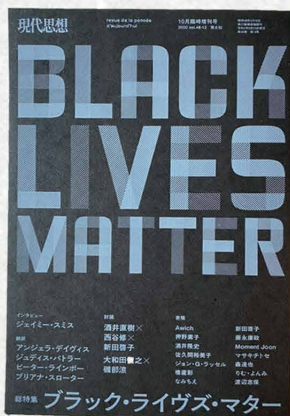
装丁用の紙見本帳をこしらえました。色々な用途にお使い頂けると嬉しく思います。紙を通して、心に伝わる温もりが感じられる装丁にとっても良い紙造です。

噴煙姉妹
著 名梁 和泉



カッパーレッド

現代思想 総特集
BLACK LIVES MATTER



特黒色ボール

犬がうまれる
著 雲がうまれる



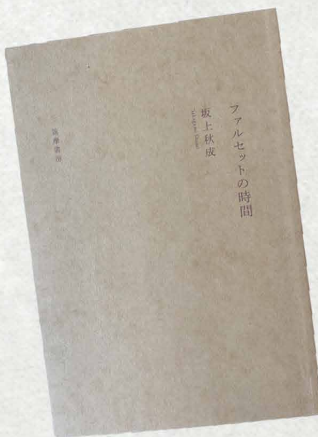
エースボール

空洞電車
著 朝倉 宏景



白丸α

ファルセットの時間
著 坂上 秋成



洛陽α



装丁の紙見本帳

装丁…川名 潤



DAIWA ITAGAMI

大和板紙株式会社

〒582-0004 大阪府柏原市河原町5番32号
TEL.072-971-1445 FAX.072-971-1449
E-mail daiwa@ecopaper.gr.jp
http://www.ecopaper.gr.jp

資料請求・お問合わせは
左記までお気軽にどうぞ!

MOTOI DESIGN issues it.